# 東海道：05御油西ー赤坂ー本宿入口

団地の中に

## 長沢城址

宗家3代松平信光の子親則が築き
長沢松平氏の代々の城。
桶狭間合戦後は家康の配下に入る
長沢松平8代家忠は家康の娘矢田姫
を妻にする。
城跡は団地の中に碑があるのみ。

## 旅籠大橋屋

間口9間、奥行23間の大旅籠、正徳6年
(1716)の建築と言われている。
旅籠として慶安2年(1649)創業以来19代
続く老舗。明治4年までは”伊右衛門鯉屋”
と言った。明治11年10月30日には明治天皇
安在所となる。いまも営業。

## 正法寺

万巻上人(奈良・平安718-815)が開基
中興の祖は親鸞の弟子了信坊(源頼朝
の弟範頼の長男範円)、観音立像は三河
守範頼の守り本尊とか、了信坊が住職
の時に伝えられる。
町指定イヌマキ、雌と雄2樹、樹齢500年
町指定ｳﾗｸﾂﾊﾞｷ(有楽椿)、別名ﾜﾋﾞｽｹ
樹年400年。

## 赤坂宿 (藤川宿へ2里9町)

江戸から36番目宿、伝馬朱印状には「赤坂五位」と
併記あり赤坂、御油で一宿として扱われていたようだ。
下りは藤川宿から御油宿まで(赤坂とばし)
上がりは吉田宿から赤坂宿まで(御油とばし)と
使い分けられていた時もあったとか。
町並み8町30間〔約1km〕、天保14年の宿村大概帳
によると本陣3、脇本陣1、旅籠62、人口1304。

[弥次・喜多]
宿を赤坂にとる、狐騒動続く、隣室の新婚さん
気になりそっと襖に
”婿嫁のねやをむせうにかきさがし
われは面目うしないしとて”

## 見付

赤坂宿の見付は東は関川地内、西は八幡社
入口付近にあったとか、東の見付は寛政8年に
関川神社前に移されたようだが慶応4年町並み
図では元の場所に移された。

東の見付跡

## 関川神社

赤坂の長者宮路弥太次郎長富が国司大江定基の
関川地内の楠の側に堂を建て市杵島媛命を祀った
のが始まり。クスノキは樹齢800年町指定。
境内に ”夏の月御油より出て赤坂や”の芭蕉の
句碑がある。

## 長沢御殿跡

長沢小学校の敷地内。
寛永11年(1634)将軍家光上洛
の折、将軍休息所として急遽
建設されたが廃止されるまで
46年間一度も使われなかった。

## 杉ノ森八幡宮

大宝2年(702)持統天皇東国巡幸で
赤坂の頓宮居られた時に伊勢神宮
御厨跡(東北音羽側沿い)に大神宮
・八幡宮(当地)を勧請され両宮に
神鏡を納められたと言われる。
境内のクスノキ2本根元一体、樹齢
1000年、幹周り6m。

## 浄泉寺 (浄土宗)

初めは赤坂西裏の山稜にあり宮路山
医王院浄教寺、薬師如来(伝行基作)
が安置されていたが中世衰微無住となる。
教山善誉上人が隠居寺として天正16年
(1588)邸内に一宇を建て阿弥陀如来
(慈恵大師作)を安置、浄土宗とする。
境内には旅籠清洲屋の中庭にあった
蘇鉄がある(広重の浮世絵モデルにもなる)
また,代官,本陣の墓もある。

## 長福寺 (浄土宗)

国司大江定基が力寿媛の亡骸を裏山に
葬って墳墓を築き一宇を建てた(999)のが
寺の起りとか。また長保年間(999-1004)に
赤坂の長者宮路長富が娘力寿姫の死を悼み
菩提寺を建てたとも。寺には定基の寄進した。
聖観音菩薩像(県文化)がある。

力寿姫の墓